



婚姻色の現れた綺麗なオス。日本の淡水魚の中でも美しい種といえる。福井市産 全長：約18cm

コイ科 オイカワ属

【全長】 20cm

オイカワ

学名：*Opsariichthys platypus*

分布域

新潟県・関東地方以西の本州と
四国・九州北部に分布する。

生息域

河川の中流～下流域、湖沼など
の砂礫底部を好む。



群れで生活し、遊泳力も高い。

体形は側扁し体幅は薄い。体色は背部は暗緑褐色で腹部は銀白色。体側には7～10個の不規則な横斑が並ぶ。食性は雑食性で付着藻類や水生昆虫・底生動物などを広く食べる。産卵期は春～夏で、真夏が最盛期。砂底～砂礫底部に集団で産卵する。この時期のオスは極めて明瞭な婚姻色を示し、青緑色や朱色が強くなり頭部が黒く変化する。臀鰭は著しく大きく伸長する。頭部や臀鰭に追星が現れる。生息環境は広く、比較的開けた河川や水路に生息する。県内では普通種といえる。

水槽での飼育は可能だが、臆病で水槽面にぶつかり死ぬことが多い。静かな環境で飼育したい。餌は配合飼料に慣れる。

在来種

純淡水魚

※ 福井県内に広く生息する。本県では移入種とされているが、疑問があり本書では在来種とした。ただ、九頭竜ダム湖などに生息するものは移入の可能性が高い。